

戸田市 施策評価シート

作成日	令和元年 5月22日	作成者名	矢ヶ崎 富士夫	評価者名	久川 理恵
-----	------------	------	---------	------	-------

1. 施策の位置づけ <PLAN>

基本目標	02 誰もが健康でいきいきと生活できるまち	中心となる課	福祉部・福祉総務課
分野	03 参加型地域福祉	関係課	福祉部・福祉保健センター
施策	19 地域福祉意識の醸成と活動の促進		
施策の目的	市民の誰もが地域社会の中でいきいきと生活できるよう、共助の精神に基づく地域福祉活動を広め、ボランティアの育成と支援により、助力を必要としている市民が多様な福祉サービスを地域で受けることができるようにします。		

2. 施策の主な取り組み <DO>

取り組み①	地域福祉推進事業
取り組み②	
取り組み③	
取り組み④	
取り組み⑤	
その他の取り組み	
その他の取り組み	

3. 施策の指標における成果（主な指標）<CHECK>

指標名	指標の説明 (算定式)	単位	目標値	達成値					
				H27	H28	H29	H30	R1	R2
見守りネットワーク事業者締結数	戸田市と見守りネットワークの協定を締結した事業者の数	機関	12	7	7	7	8		
ボランティア団体数	社会福祉協議会ボランティア登録団体数	団体	58	53	55	56	54		
その他施策の取組事項に係る成果									

4. 施策の展開 <ACTION>

課題	地域福祉のニーズが多様化している状況下において、地域課題の解決には市民による相互の助け合いが重要であることから、地域福祉に対する意識啓発を図り、参加型地域福祉を推進していく必要がある。また、誰もが安心して福祉に関する相談をできるように、福祉総合相談窓口の設置が求められている。	対応策	第4期地域福祉計画に基づき、地域福祉の担い手の発掘・育成は、社会福祉協議会との連携を強化していくとともに、各地域で実施している支部活動や地域交流のイベントを通じて幅広い市民に対し、地域福祉の意識啓発や活動参加のきっかけづくりを行っていく。また、令和2年度に福祉総合相談窓口の設置をするため、関係部署等と更なる検討と、設置へ向けた準備を進めていく。
----	--	-----	---

○結果と今後の方向性（シート作成次長記入）

進捗状況 (A 躍進中、B 予定通り、C 遅れ気味)	説明 (総評)	見守りネットワークの協定については、広範囲に対応できる事業者とすでに締結しているところであるが、今後も市が締結する包括協定等の中に、見守りに関する内容を盛り込んでいく。ボランティア登録団体についても、一定数は登録されており、各団体の活動の後方支援も行われている。目標値に近づきつつあるため、おおむね予定通りの進捗である。
B		
今後の方向性（人員/予算） (↑増加、→維持、↓削減)	説明 (人員/予算)	社会福祉協議会と連携し、新たな地域福祉活動の担い手の掘り起こしを検討していく。社会福祉協議会への助成金については、地域福祉のニーズが多様化していることから、事業内容や市との役割を整理し、社会福祉協議会を中心とした地域福祉の推進体制の強化を進めていく。また、福祉総合相談窓口の設置に向けて必要な人材や予算を確保していく。
→		

(評価者コメント)

地域の問題を自身の問題として考え、課題の解決や支え合いのしくみを住民自身が主体となって作っていきけるよう啓発し、支援をしていく。特に、社会福祉協議会の役割は重要であるので、しっかりと連携・協力していきたい。福祉総合相談窓口の設置を基礎とし、福祉総合相談支援体制の構築についても、検討を進めていく。
--

戸田市 施策評価シート

作成日	令和元年 5月22日	作成者名	矢ヶ崎 富士夫	評価者名	久川 理恵
-----	------------	------	---------	------	-------

5. 事務事業の検討 【一般会計】

(単位：千円)

大 事 業	中 事 業	事務事業名		事務事業評価の結果							★事務事業の方向性				R 2 予 算 額	事業費 うち 一般財源	
		事業コード	事業内容	事業区分	R 2 計 画 額	H30決算額	R1予算額	評価結果				事業の方向性	実施計画候補	実施計画候補			コメント
								事業の方向性	実施計画候補	実施計画候補	実施計画候補						
		うち一般財源	人件費														
02 社会福祉総務事業 (福祉総務課)																	
	01	福祉総務事務費		任意	1,162											0	
		01 03 01 01 02 01	1,599		1	B	B	B	B	1	B	義援金や社資の受付等、日本赤十字社と連携し事業を継続する。	0				
		・日本赤十字社の支援のため、会費募集の協力、災害義援	2,120														
			2,085														
			1,160														
	02	福祉団体支援事業		義務	84,530											0	
		01 03 01 01 02 02	94,897		1	B	B	A	B	1	義	社会福祉協議会は地域に不可欠な存在であり、団体の支援を引き続き行う。	0				
		・社会福祉協議会支部活動をはじめ、市民に身近な様々な	94,897														
			2,934														
	03	外国人等生活支援事業		任意	572												0
		01 03 01 01 02 03	521		1	B	A	A	B	1	B	国からの交付金を支給する事業であり、今後も国の制度により事業継続する。	0				
		・外国人高齢者等に福祉手当を支給する。月額10,000	521														
			221														
			546														
	04	自立支援ホーム事業		任意	1,748										0		
		01 03 01 01 02 04	2,425		1	B	B	B	B	1	B	現状では災害等の緊急時の入居が原則であるが、今後は施設の有効活用も検討が必要である。	0				
		軽量鉄骨造り二階建て、一室は6畳の居間・台所・浴室・	1,973														
			1,023														
	05	災害見舞事業		任意	660												0
		01 03 01 01 02 05	790		1	B	B	B	B	1	C	災害の発生時迅速な対応ができるよう、適切に事業を継続する。	0				
		全焼・全壊・流失・半焼・半壊・床上浸水・火災による部	790														
			1,023														
01 福祉企画事業 (福祉総務課)																	
	01	地域福祉推進事業		任意	261											0	
		01 03 01 09 01 01	3,062		1	○	B	B	B	B	1	○	A	福祉総合相談窓口の設置へ向けて、必要な予算等を要求し、関係部署とともに検討を進めていく。	0		
		・福祉企画事務の遂行(戸田市福祉施策審議会等)	513														
			513														
			3,412														
01 プレミアム付商品券引換券発行事業 (福祉総務課)																	
	01	プレミアム付商品券引換券発行事業		法定	0											0	
		01 03 01 11 01 01	58,203		8	-	-	-	-	8	終		0				
		令和元年度住民税非課税者及び3歳以下の子が属する世帯	0														
			0														
01 災害救助費 (福祉総務課)																	
	01	災害救助費		法定	0											0	
		01 03 04 01 01 01	5		1	-	-	-	-	-	予	災害救助法の規定に従い事業を行う。	0				
		自然災害により死亡した住民の遺族に対し、災害弔慰金の	5														
			3														
			68														

